



ミナミコメツキガニ（エビ目ミナミコメツキガニ科） *Mictyris brevidactylus*

大きさ：甲長 1.6cm。

特徴： 体は薄い紫色で球形。カニの仲間で、前に歩く。干潮時に干潟でよくみられ、人が近づくと回転しながらすぐに泥に潜ってしまう。

分布： 種子島以南：台湾～南太平洋。

生息場所： 潮のひいた砂地

生態： 群れで行動するので遠くからでもよく目立ち、このカニの群れが通り過ぎた後には、砂の団子がたくさん残される。ミナミコメツキガニは、潮が引いたあとの砂の中の養分を吸い取って食べ、残った砂を団子状にしてポイッと投げ捨てる。ミナミコメツキガニの群れが行進した後には、砂の団子が無数に干潟の砂浜上に残る。

泡瀬干潟では、岸近くの砂質干潟の上を、無数のミナミコメツキガニがエサを食べながら行進する姿を観察することができる。

本当に、愛らしいカニである。近づくと、その場で回転しながらもぐってしまうが、地表付近の砂の中でじっとしているので驚かしてはいけない。